

藤原編集室の隠し玉

2016年4月以降の刊行予定（タイトルは仮題）

二人のウィリング ヘレン・マクロイ 瀧上瘦平訳 ちくま文庫 4月刊

精神科医ベイジル・ウィリング博士は自分の名を騙る偽者を追って、パーティー開催中のある家に辿り着くが、そこで奇妙な殺人事件に巻き込まれてしまう。発端の意外性と謎解きの興味、サスペンスに富んだ展開。好評『あなたは誰?』に続くちくま文庫マクロイ・ミステリ第二弾は、さらに円熟味を増した中期作。「絡み合った謎にも結び目がある。名探偵がそれをほどこき、一本の糸となる快感」――深緑野分氏（解説より）



ケイレブ・ウィリアムズ ウィリアム・ゴドウィン 岡照雄訳 白水Uブックス 7月予定

有力者の地主フォークランドに引き取られたケイレブは、人望厚く慈愛に満ちた主人の隠された暗い秘密を知ってしまう。社会の不正義、追う者と追われる者のサスペンス、心理的闘争を息苦しいまでの緊迫感で描いたゴシック小説。ミステリの源流ともされる名作。

ロルドの恐怖劇場 アンドレ・ド・ロルド 平岡敦編訳 ちくま文庫 今秋予定

転がる生首、狂気の犯罪、流血の惨劇……。20世紀初めのパリで、殺人、人体実験、拷問、復讐、精神異常等の猟奇的な残酷場面を売り物に一世を風靡したグラン・ギニョル劇場の看板作家として活躍、「恐怖のプリンス」の異名をとったロルドの恐怖と戦慄に満ちた短篇小説を集成。

ドラゴン・ヴォラントの部屋 J・S・レ・ファニュ 千葉康樹訳 創元推理文庫 今秋予定

フランス旅行中の英国青年ベケットは、パリへの途上で老貴族とその若く美しい妻と出会う。三人は宿屋に泊まるが、ベケットに割り当てられたのは、過去三度、錠の下りた部屋から宿泊客が消え失せた「呪われた部屋」だった。ヴィクトリアン・スリラーの名作に怪奇短篇を併録。

【準備中】

平和の玩具 サキ 和爾桃子訳 白水Uブックス

子供に武器の玩具や兵隊の人形を与えるのは教育上好ましくない、という国際平和会議の宣言に感化された若夫婦は、平和的な玩具セットを息子にプレゼントするが……。『クローヴィス物語』『けだものと超けだもの』に続く新訳サキ短篇集第三弾。序文G・K・チェスタトン。

絞首台の謎 ジョン・ディクソン・カー 和爾桃子訳 創元推理文庫

不気味な絞首台の影、夜霧の街を疾走する死体の運転する自動車……。ロンドンにやってきたバンコランとジェフ・マールを待ち受ける奇怪な事件。『夜歩く』に続くバンコラン・シリーズ第二作の新訳。